

2016年5月13日
一般社団法人 新金属協会
化合物半導体部会
部会長 鈴木 健彦
DOWA エレクトロニクス株式会社
半導体事業部 事業部長

平成 27 年度通期の化合物半導体の出荷統計について

2015 年度通期（2015 年 4 月～2016 年 3 月）の化合物半導体材料の出荷統計がまとまりましたので別紙の通り発表いたします。

2015 年度通期（2015 年 4 月～2016 年 3 月）の化合物半導体製品の出荷額は、273 億円となりました。結晶別では、主要 3 品目のうち InP が増加した一方で、GaAs、GaP が減少しました。用途別では LD がやや増加した一方で、可視および赤外 LED が減少し、その他もやや減少しました。なお、今期より、統計参加会社の変更がございました。

1.GaAs

2015 年度通期の GaAs の売上高は、189 億円となり、国内、海外ともに減少しました。GaAs の主な用途市場はスマートフォン等に使用される高周波デバイス、また各種の表示機器やセンサ等に使用される可視・赤外 LED、および光ディスク等に使用されるレーザーダイオード（LD）等がありますが、2015 年度の結果は主に可視・赤外 LED の減少によるものと推察しています。なお、2015 年度の結果には統計参加会社の変更による影響も含まれています。

2.GaP

2015 年度通期の GaP の売上高は、ほぼ半減の 19 億円となりました。また、国内、海外ともに減少しました。可視 LED 用途市場の需要落ち込みの影響に加え、GaP 系および GaAsP 系 LED が車載、家電等の特定市場へ絞り込まれていく一方で、安価で高輝度な中国製 AlInGaP 系や供給過剰になっている GaN 系 LED への置き換えの進行が広がりを見せてきている影響と推定しております。

3.InP

2015 年度通期の InP の売上高は、56 億円となり、国内、海外ともに増加しました。クラウドコンピューティングの広がり、スマートフォン等の情報端末の普及による通信量の急激な増大を背景に、InP の主要な用途は光通信用の受発光素子の所要が前年に引き続き、堅調に推移した結果と推察しています。

<お問い合わせ先>

DOWA エレクトロニクス株式会社

半導体事業部 副部長

佐川 徹

電話 03-6847-1253 Fax 03-6847-1260

e-mail : sagawat@dowa.co.jp